



北中だより

7月号

平成30年7月24日(火)

回 覧

< 学校評議員会開催 >

学校評議員は、学校、家庭、地域が連携協力しながら一体となって子どもの健やかな成長を担うとともに、地域に開かれた学校作りを推進する目的で創設されています。

今年度は昨年度に引き続き、・杉崎 武彦様・鈴木 佳憲様・三沢 昭代様の三人の方々に委嘱し6月18日(月)に学校評議員会を開催いたしました。

最初に、新しい南校舎で生徒が学ぶ姿を御覧いただきました。

その後、学校の経営方針や本校の状況を説明した後に、評議員の皆様から御意見を頂戴いたしました。その一部を御紹介いたします。

- ・ ゆったりした広い廊下、木のぬくもりを感じさせるあたたかみのある校舎。素晴らしい環境の中で生徒が落ち着いて学習に取り組んでいる。
- ・ SNSによる生徒指導上の問題については、同じ内容のことであっても「言葉で言うのと文字に残るのでは全く違う」ということをもっと意識する必要があるのではないのでしょうか。SNSで書き込まれたものは、何度でも見ることができたり、拡散してしまうことがあり、いつまでもショックが残ってしまうことがある。
- ・ 最近、ゲーム機でもSNSと同じようなことができる。保護者がそのことを知らないで、与えているのだとしたら、むしろその方が問題かもしれない。また、保護者も不用意なSNSの使い方をしていないだろうか？ということを考えて子どもだけの問題ではないのではないかと。

< 南校舎改築工事が終了 >

すでに4月から供用を開始している南校舎ですが、仮設校舎の取り壊しや、グラウンドへの修復工事が、引き続き行われておりました。7月12日を持ってグラウンドの修復工事の囲いが取れ、工事が終了いたしました。早速、広いグラウンドで昼休みに遊んだり、部活動で汗を流したりしている生徒の姿が見られるようになりました。

長期間にわたって、保護者の皆様や地域の皆様には、工事に御協力くださりありがとうございました。



<制服リサイクルバザー>

7月5日（木）に「ゆうかりの会」の皆様が制服リサイクルバザーを開催してくださいました。このバザーは、卒業生の皆様が制服やジャージ等を御寄附くださったものを、在校生に譲るという形で行われています。まだ使えるものを再利用することから資源保護の観点から考えると地球にとっても優しい取組です。



「ゆうかりの会」の皆様は、前日までに、様々な御準備をしていただき、当日を迎えました。例年同様、開始時刻の前から、整理券を配布するほどの盛況ぶりでした。今回のバザーの売り上げは43,218円でした。「ゆうかりの会」の皆様、御利用いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



<中体連壮行会>

2年生の学年委員が主催する中体連大会やコンクールに出場する生徒を激励するための部活動壮行会を開催しました。

各部の活動を撮影した映像のあと、選手からの決意表明に続いて、各クラスから選出された応援団員を中心とした応援が披露され、体育館中にリズムをとる太鼓の音と、その音に負けないうらい大きな声の「頑張れ北中」の大声援が響き渡りました。準備から当日の運営までそのほとんどの活動は2年生の学年委員の生徒の手で行われました。本校の校訓である「自治」の精神は、確実に受け継がれていると感じました。

中体連市内大会が7月初旬から行われました。試合に出場した選手とベンチ、応援席の一体感がどの会場でも感じられ、感動ある大会となりました。

市内大会の結果「男子バレー」「女子バレー」「女子バスケット」「剣道」が市内大会で優勝し、明日から行われる県大会に出場します。また、個人では「男子テニス」「男女卓球」「水泳」「剣道」から市内大会個人戦を勝ち抜いた生徒が県大会に出場します。陸上の県大会では女子800Mに出場した選手が東海大会出場を決めました。東海、県大会に出場する選手たちへのさらなる応援をお願いします。



<ふくろう夢へ向かって>

管理棟の階段の途中に、ふくろうが描かれた絵が飾ってあります。「ふくろう夢へ向かって」と題されたこの絵は、長野県安曇野市でピサンチ美術館を開いている北山敏先生が描いてくださったものです。

北山先生は本校の卒業生で、北中学校のためにこの絵を描き、寄付してくださいました。先日、本校を訪ねてくださりこの絵に込めた思いを話されました。

「人の創造力を超えた美しい色や形が自然の中には隠れています。自然が持つ神秘的な色や形をそのまま使ってコンピュータで制作しました。」

また、この絵には、本校の門と校章も描かれています。時間があるときに、この絵をじっくり御覧ください。

